



ロータリーは機会を開く

2020-21 年度 RI テーマ  
Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー会長  
ホルガー・クナーウ

# Weekly Bulletin

30th anniversary

## 藤枝南ロータリークラブ 会報

例 会：毎週金曜日  
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30  
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝 4-7-16  
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000  
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2020-21 年度  
会長：松浦正秋 副会長：竹田敏和 幹事：鈴木健夫 副幹事：望月 誠

**例 会 第 1 3 7 2 回： 通常例会/小杉苑**

**ソング 君が代、奉仕の理想 : ソングリーダー 大村和宏君**



**■ 会長挨拶 松浦正秋君**



30期が本日から始まりました。節目の一年の会長で緊張しております。29人の歴代会長の思いと多くの会員の思いを受け継ぎ、楽しい一年にしていく所存です。

コロナ禍の大変な時期での会務の担当で従来通りの運営は難しいと予想します。皆さんに相談しながら進めていきます。来年5月28日は満30周年となります。奥様を交えた夜間例会で大いにお祝いをしたいと思っております。鈴木幹事と共に務めてまいります。一年間よろしくお願ひいたします。

**■ 理事会報告 鈴木健夫君**

- ・8月プログラムについて、承認されました
- ・9月プログラムについて継続審議となりました
- ・ガバナー補佐訪問について、7/31(金)法月昭治ガバナー補佐がお越しになります。
- ・納涼夜間例会について、8/28(金)小杉苑にて開催されます。

**■ 出席報告 村松章典 君**

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
45/51 88.23%	51/51 100%

(1)欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 飯田君 ○内山君 ○桑原君 ○中村君 ○瀧脇君  
川口君

食事準備数	食事提供数	残
47	47	0

**パーフェクト例会数 😊**

**欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします**

**■ スマイルBOX 村松章典君**

- ・会場監督の小池です。30周年の記念の年で鬼の会場監督として勤めます。 小池吉久君
- ・1年間楽しい例会ができます様がんばります。 よろしくお願ひします。 松浦正秋君
- ・プレゼントありがとうございます。

佐野芳正君

- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございます。 1年間ありがとうございました。

渡邊芳隆君

- ・2019-2020年度 渡邊会長が、皆様のご理解とご協力で終わる事が出来ました。ありがとうございます。

一年を振り返りますと、定款細則に始まり少年サッカー大会、お弁当配布例会と会長・

幹事とも、良い経験が出来ました。

皆様に、心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。前幹事森竹正晃君

- ・松浦年度の始まりですね！！30周年も合わせて1年間よろしくお祈りします。

本日はお目出たい日に出席できなくて申し訳ございません。私は今、遠く離れた島、いやいや、視察に来ております。地球防衛軍の隊員として日本の離島を中国軍から守るのが我々の任務ですので 本日の欠席をどうかお許しください。 飯田敏之君

- ・奉仕プロジェクト委員会の委員長を務めさせていただきます。よろしくお祈りします。

先日妻が当たった2万円のお肉をおいしくいただきました。 若林秀典君

- ・誕生日プレゼントありがとうございます。毎年、トップバッターでいただけ大変光栄です！ 平原望君

- ・45才、誕生日プレゼントありがとうございます。ロータリーに入って2年ほどになります。とても楽しく参加させて頂いております。これからもいろいろと勉強させて頂きます。よろしくお祈り致します。 数野晴紀君

- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございます 小林正敏君

- ・ありがとうございました。 内藤浩光君

- ・ありがとうございました。 富澤静雄君

**スマイル累計額 58,000円**

## ■ 会長・幹事挨拶



### 松浦正秋会長

従来は会長予定者としてPETS、地区協議会などの研修会議を経て7月を迎えるのですが、コロナ禍で全ての会議がキャンセルとなり、動画配信

による自主研修となりました。

本年のR Iテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。R I会長は次のように語っています。ロータリーとは、会員制の団体、クラブを基盤とした団体、奉仕を行う団体であり、町ごと、地域ごと、そして全世界で活動する団体です。その会員は、地域社会のメンバー、事業人、職業人であり、現役で仕事をする人もいれば、定年退職した人もいます。そして、世界のほぼすべての国で活動しています。120万人の会員一人ひとりが、独自の目標と優先を掲げ、一味違った経験をしています。一人ひとりが、ロータリーを独自の解釈で理解しているのです。

ロータリーには、112年の豊かな歴史があります。この間にロータリーは、徐々に成長し、成熟し、会員と地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら、ある意味で大きく変わりました。しかし、その根底にあるものは同じです。それは、地域社会と世界に変化を生みだしたいという願い、そして、ロータリーを通じてそれを実現できるようになった人が集まった組織だということです。各クラブがロータリー奉仕を独自に定義することが、かつてないほど重要であると自覚しています。ロータリアンである私たちは、これまでよりも柔軟に、クラブの例会、活動、発展の方法を決定でき、また、もっと多くの女性や多様な会員を迎え入れて、地域社会の特色をクラブに映し出すことに力を注いでいます。長期の計画、持続可能な奉仕、全レベルでのリーダーシップの継続性を重視することで、ロータリーが世界有数のボランティア組織であり続けるよう努力しています。私たちはその活動が、人数が多かろうが少なかろうが、誰かの人生をより良くしているのだと知っています。ロータリー入会のきっかけが何であれ、私たちがロータリーにとどまり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからです。この充実感は、毎週、毎年、「変化をもたらす」ロータリーの一員であることから湧き出てくるものなのです。

ガバナーは静岡RCの荻原さんです。次のようにおっしゃっております。

私たちはコロナ禍によって生活を大きく変化するよう強いられました。今こそ私たちロータリアンが新しい社会の在り方を模索し、柔軟性と適応力を発揮しなければなりません。

本年度R I会長ホルガー・クナーク氏のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」 Rotary Opens

Opportunities です。機会の扉を開くとは新しい扉を開くということでもあると私は考えます。また、ロータリーの再出発とも捉えられます。何年もやってきた事業や活動は一度立ち止まって再検討をしたうえで続けたり、あるいは変更したり、中止したりする、そういったことをよく考える一年としたいと思います。

これからは、コロナが終わったとしてもなかなか今までのように人と人が群れることが少なくなるでしょう。しかし、その繋がりや絆は益々大切になっていくことと思います。

どうぞ会員皆様におかれまして、この一年間新しい生き方への扉を開いてみて下さい。

本クラブのテーマは「原点回帰」です。会員それぞれのロータリー感を問い直す一年にしたいと思えます。変化のめまぐるしい今を生きる職業人として、その動きに先んじて自らを変身させていくことが肝要です。志を同じくして集う者どうしが、共通の理念のもと、刺激し合い、化学反応を起こせる組織となればと考えます。これまで以上に例会に出席し、ロータリーの哲学である「奉仕の心」を学び、それを通して親睦を深めていくクラブになればと思います。大いに語り合い、学び合い、高め合っていきたい。次の10年、20年に繋いで行くために、足元を見つめなおす年となればと思います。



#### 鈴木健夫幹事

藤枝南 RC 創立30周年という節目の年に幹事という大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。質の悪い流行り

病の影響で PETS や地区協議会なども例年とは違いかたちでの次年度準備期間の始まりでした。会員名簿とクラブ計画書を作成しながらも一抹の不安をかかえたままでしたが、ようやくスタートすることができました。

松浦会長を全力で支えて行きたいと思っております。一年間どうぞよろしくお願ひします。

## 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
7/10(金) 第 1373 回	委員長挨拶	小杉苑
7/17(金) 第 1374 回	会員卓話	小杉苑
7/31(金) 第 1375回	がバナー補佐訪問	小杉苑
8/7(金) 第 1376 回	会員卓話	理事会

### 今週の一言

平原望 君

私の“今迄旅して良かった所、行ってみたい所”は、鹿児島県南九州市知覧町にあります

『知覧特攻平和会館』です。

みなさんよくご存じだと思いますが、第二次世界大戦末期の沖縄戦で特攻作戦により戦死された特攻隊員の遺品や関係資料を展示してある記念館です。私は2度訪問しております。

展示品の中で深く印象に残っている物は、ハチの巣状態でボロボロになった本物の零戦と、特攻で亡くなられた方々の直筆の遺書です。

二十歳そこそこ、中には10代の方もいらっしゃいますが、見事なまでの達筆のしっかりとした文字で遺言を残されています。私は今でも彼らの様な美しい文字は書けません。

お国の為にとという献身的な言葉と同時に、ご遺族特にお母さんに対する本音のメッセージも書かれており、涙無くして見る事が出来ません。

現在の平和と発展が、この方々の尊い犠牲の上に成り立っていることを痛感し、感謝と哀悼の意を表します。ここを訪れる度に、日本人の魂の美しさ、日本人としての矜持・プライドを再確認することができ、日本人で良かったと改めて思います。コロナ禍を脱して、普通に旅ができるようになったら、是非とも近々この地を訪れてみたいと思います。

おめでとうございます！

